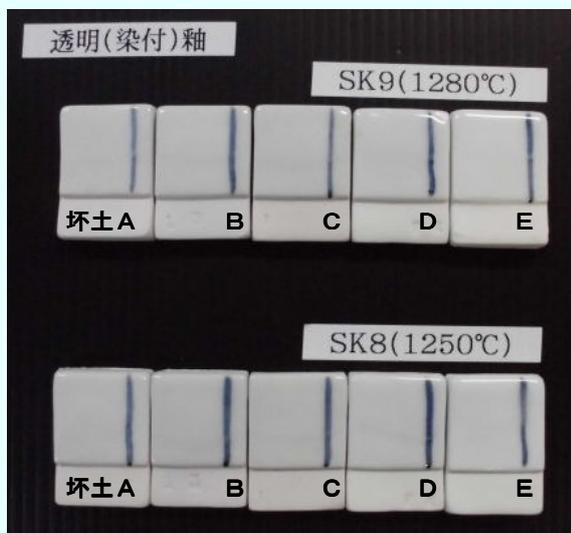


砥部焼釉薬の安定化

— 砥部焼釉薬の安定化に関する研究（H27～28） —

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 主任研究員 首藤 喬一*

現在の砥部焼は、製品の多様化により様々な坏土が使用されています。それぞれの坏土によって最適な釉薬の調合が異なり、その選択を間違えると様々な不具合を起こします。そこで、安定した砥部焼の製造のため、現在の砥部焼坏土に対応した釉薬の調製を行いました。



砥部焼は、主に**透明（染付）釉**、**青白磁釉**が使用されています。

また、通常の透明釉にはやや青みがあるため、洋食器に合う**青みを抑えた透明釉**を加えた3種類の釉薬を選択しました。

5種類の坏土と一般的な焼成条件（1250-1280°C、還元焼成）に対応した釉薬の検討を行いました。

- 砥部焼に使用されている坏土と釉薬について、現状調査と分析を行ないました。
- 主な砥部焼坏土に対応した3種類の釉薬が調製できました。
- 得られた知見をもとに、その他窯元個別の釉薬相談に対応していきます。

本研究は、県単独事業により実施しました。
（* 現経済労働部 産業創出課）